

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		部課コード	091100	2948-3141
事業コード	再資源化推進事業(西部クリーンセンター)	担当部課	西部クリーンセンター施設課	
092201		グループ	維持管理グループ	
開始年度	15 年度	終了年度	年度	

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装リサイクル法、循環型社会形成推進基本法
	関連・類似事業	再資源化推進事業(東部クリーンセンター)			
	総合計画の体系	章 環境・自然	節 廃棄物の減量・資源の循環	基本方針	ごみの減量と資源化を推進します
事業開始の背景	容器包装プラスチックの再資源化を推進し、最終処分量を減らすことにより環境への負荷低減を図るため、容器包装リサイクル法に基づく選別・圧縮・梱包を行い、指定法人ルートへの引き渡しを行っている。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	容器包装プラスチック(資源)を容器包装リサイクル法に基づく品質に適合するように、適正に選別を行い再資源化を図る。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	3,373 t
	市内西部管内の一般家庭から排出された容器包装プラスチック(資源)			平成 27 年度	3,439 t
事業の具体的な内容及び実施方法					
・プラスチック処理の流れ 集積所 収集 ストックヤード 選別(不適物・容器包装プラスチック) 1. 不適物 搬出 埋立てまたは焼却(東部クリーンセンター) 2. 容器包装プラスチック(資源化) 圧縮・梱包 搬出(リサイクル業者)					

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
予算現額		90,322	90,728	92,391
決算(見込み含む)		88,657	93,912	
(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)		(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)
正規職員人件費		0.65 人	0.75 人	6,495
事業費合計		94,326	100,407	
財源内訳	一般財源	94,326	100,407	92,391
	国・県支出金			
	その他()			

「財源内訳」について
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
				活動実績	容器包装プラ+ペットボトル+プラ残渣+分別可燃量	総搬出量	t/年
	容器包装プラスチック	搬出量	t/年	2,902	2,745	2,700	2,832
	ペットボトル	搬出量	t/年	7	7	8	10

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
				成果指標	資源化率	資源物搬出量 ÷ 総搬出量	%
	実績			83	78	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率 85	80	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	引き続き容器包装リサイクル法に則った品質改善を図るため、選別段階で不適物の除去等を強化した。特に汚れが多く付着したものについては重点的に行い、更なる品質の向上に努めた。	市民から排出された廃棄物に不純物が予想より多く含まれていたことから、資源化率が目標値を下回った。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	資源の有効利用を図るため、今後も継続的に進めて行く。
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	今までどおりの処理を継続するため、現状を維持する。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性	
	資源の有効利用を図るため、再資源化事業を進め環境への負荷軽減を図っている。			資源の有効利用を図るため、今後も継続的に再資源化事業を進め、環境への負荷軽減を図る。	
評価日	平成28年7月21日	評価者職氏名	施設課長 遠山秀仁		

環境影響	有益な環境影響	2-2リユース・リサイクルの推進	2-3廃棄物の適正処理	有害な環境影響を及ぼす原因活動	分別作業に伴う機械・作業車の使用	規制を受ける環境法令等	緊急事態	有	無
------	---------	------------------	-------------	-----------------	------------------	-------------	------	---	---